



粘り強い経営

## 中小企業の真の優劣判断の時期が来た

業務部長 山崎和典



「実感なき好景気」にいいよ陰りが見えてきた。

大手3月期決算において、軒並み減益決算がみられ、また、ここに来て四半期GNPの前年割れの新聞記事を目にし、景気の後退局面が囁かれている。文字どおり、中小零細企業は、「実感なき好景気」であり、経済指標は他人事の感はある。

しかし、この5、6年の間、金融機関の中小零細企業への積極的融資姿勢から、資金的に経営策の支援があったが、この点に、陰りが見えてきているのは事実だと思う。金融機関が、「金融機関から見た」中小零細企業の優劣選別判断を下していく。

過去何年かの(5, 6年前)金融機関融資残と現在の融資残を再度比較しておきましょう。

金融機関融資の増加や残額が、

### 1. 必要運転資金「(売上債権+棚卸資産)-仕入債務」に使われたのか。

現状の「売上・在庫、仕入」条件に異常がないか、改善の余地がないか。

運転資金融資の急激な減少は、取引(商売)に支障をきたす、事業の縮小を余儀なくされる。

### 2. 設備投資に使われているのか。

設備投資をした時点の投資資金回収計画に見合う、回収ができていないか。

また、金融機関融資の返済計画以上の回収になっているか。

### 3. 赤字の補填に使われたか。

経営の抜本改革を進め、経常利益が確保できる経営を目指しているが、未だ達成できていない状況だと思う。時間を区切り、補填資金の返済スケジュールを明確にする。

現実には、様々な要因があると思うが、基本的には、以上の要因に分類されると思う。

自社の現状を上記の観点より、今一度分析されて、**明確な経営ビジョンを取引銀行に提示し、金融機関から見た優劣判断に於ける「勝ち組」**になる。

原油高に伴う、経営コストのアップが利益を直撃しています。販売価格の改革をおこなうか、更なる経営の無駄コストを削減するか、経営者の判断、決断が求められます。

今こそ「粘り強い、諦めない」経営意思を持って、外部環境の変化に対応しましょう。

**今年も、後半戦に突入です。**

## 減価償却制度が改正されています

減価償却制度について、国際競争力強化の視点を踏まえて、法定耐用年数の区分の大括り化と耐用年数の見直し 短縮特例制度の手続きを簡素化、といったような改正がありました。

### <法定耐用年数区分の見直し>

- ・ 現行の法定耐用年数区分(機械・装置)は390区分。新技術や新製品が誕生する度に適用する耐用年数等の問題が生じていました。

国名	日本	アメリカ	イギリス	韓国	中国
機械装置の区分数	390区分 (設備の種類毎)	48区分 (業種毎)	1区分 (償却率25%のみ)	26区分 (業種毎)	1区分 (耐用年数毎)

見直しにより**55区分**(日本標準産業分類の中分類)に大括り化・**使用実態等を踏まえて耐用年数を見直しすることになりました。**



適用開始時期は**(法人)既存の資産も含め、平成20年4月1日以後開始する事業年度から適用**  
**(個人)平成21年度の所得税から適用**

なお平成19年度改正において、新規取得資産につき法定耐用年数経過時点で取得価額の全額(100%)を償却可能とし、既存資産につき「償却可能限度額(95%)」を撤廃する抜本の見直しがありました。

(坂本)

## 弥生会計セミナー報告

去る6月24日と7月1日、西宮商工会議所主催の弥生会計のセミナーに、当事務所から講師として、長沼隆弘・石川・丸山・渡邊の4名が参加いたしました。

わずか5時間で、弥生会計の一通りの操作と簿記の基本を学んでいただくという内容であったものの、定員40名に対し、満員でキャンセル待ちがでるほど盛況でした。

当事務所でも、**毎月第2水曜・第3木曜に無料で弥生会計のセミナーを行っております**ので、お気軽にご連絡ください。(石川)

## 生命保険加入のお勧め

当事務所は平成15年よりING生命の代理店をしています。

ING生命ってこんな会社です。

格付が示す信頼性

スタンダード&プアーズ社 保険財務力格付け AA-

- ・ 割安な保険料で補償が買いたい。
- ・ 相続対策として、個人資産を圧縮したい。
- ・ 経営者の退職金プランを考えたい。
- ・ 従業員の福利厚生を厚くしたい。

一度検討したいと思われる方、皆さんの周りで加入を考えている方がいらっしゃいましたら、担当者を派遣しますので私どもにご連絡下さい。(お電話でも FAXでも結構です) (森)

## 新入所員紹介

下舞 和恵

昭和56年3月14日生まれ O型

2月に入所しまして、早6ヶ月が経ち、日々成長を目指して勉強の毎日です。

何分未熟者ではありますが、早く皆様のお役に立てますよう、努力していきますので、何卒宜しくお願致します。



## 編集後記

2008年8月8日より始まった北京オリンピック!

欧州を中心に各国チームの直前宿泊地として、北海道から九州までの各地が賑わっています。北京の環境、食の安全面から、競技までの期間を日本で滞るとのこと。各地の活性化、子供たちにもよい刺激になるのではないのでしょうか。

まだまだ厳しい暑さの中、オリンピック観戦に熱をあげつつ水分補給等体調を整えて乗り切っていきましょう。

今回は業務2課がお届けしました。(佐伯)

